

平成26年 2 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年10月 8 日

上場会社名 株式会社スーパーバリュー 上場取引所 東
 コード番号 3094 URL http://www.supervalue.jp
 代表者 （役職名）代表取締役執行役員社長 （氏名）岸本 七朗
 問合せ先責任者 （役職名）取締役執行役員経理統括 （氏名）中谷 圭一 TEL 048-778-3222
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年 2 月期第 2 四半期の業績（平成25年 3 月 1 日～平成25年 8 月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年 2 月期第 2 四半期	28,857	△0.3	382	△8.0	380	△7.3	232	△2.1
25年 2 月期第 2 四半期	28,941	—	415	—	410	—	237	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年 2 月期第 2 四半期	110.50	104.96
25年 2 月期第 2 四半期	113.05	107.46

（注）平成24年 2 月期第 2 四半期は連結業績を開示しておりましたが、前第 1 四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、平成25年 2 月期第 2 四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年 2 月期第 2 四半期	24,875	4,747	19.0	2,244.46
25年 2 月期	22,179	4,556	20.5	2,163.90

（参考）自己資本 26年 2 月期第 2 四半期 4,736百万円 25年 2 月期 4,546百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年 2 月期	—	0.00	—	30.00	30.00
26年 2 月期	—	0.00	—	—	—
26年 2 月期（予想）	—	—	—	25.00	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成25年 2 月期の期末配当金の内訳は、普通配当25円00銭及び記念配当 5 円00銭であります。

3. 平成26年 2 月期の業績予想（平成25年 3 月 1 日～平成26年 2 月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,800	1.9	580	△35.5	543	△37.4	553	9.7	262.43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

業績予想の修正については、本日（平成25年10月 8 日）公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期2Q	2,110,500株	25年2月期	2,101,000株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	104株	25年2月期	76株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期2Q	2,104,154株	25年2月期2Q	2,100,924株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、当第2四半期決算短信の添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

なお、平成24年2月期までは連結財務諸表を作成しておりましたが、連結子会社でありました匿名組合（（有）上尾企画）が平成23年12月に清算し、他の子会社につきましては、資産、売上高等から見て当企業集団の財政状態及び経営成績の分析に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいことから、前第1四半期より提出会社のみ財務諸表を作成することといたしました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融政策を背景に円高の是正、株価の上昇が進み、景気回復に向けた動きが見受けられましたが、所得環境など実体経済の改善までは至らず、一部回復の兆しが見られる個人消費においては物価上昇による消費マインドの低下、さらには海外経済の下振れリスクも懸念され、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社の所属する小売業界におきましては、食品や日用消耗品を中心にお客様の低価格志向・節約志向が根強く、業態を超えた価格競争の厳しさは高い水準で継続し、依然として厳しい経営環境で推移いたしました。

このような環境の中、当社では前事業年度より引き続き、会社の基盤強化を図る取り組みを推進したほか、お客様にとって魅力ある価格、商品の品揃え、お買い物しやすい売場づくりに注力してまいりました。これらの取り組みにより、既存店において、客数は前年並みの水準まで回復しましたが、厳しい価格競争の影響により1点単価及び客単価が下落し、売上高は前年同期を下回る結果となりました。

利益面では、仕入原価の低減や高機能・こだわり商品の品揃え、物流センターのより効果的な活用（一部商品の備蓄化）に継続して取り組み、売上総利益率は前年同期と同水準の20.6%を確保することができました。また、経費面では、4月に新卒社員51名の入社のほか、店舗改装に係る一時的な費用が発生し、経費節減への取り組み効果は表れているものの、販売費及び一般管理費は前年同期比100.5%と増加いたしました。

店舗展開におきましては、新店の出店はありませんでした。また、売場効率の改善とお客様がよりお買い物しやすい売場づくりを目的とした店舗改装を東所沢店、上尾愛宕店の2店舗で実施いたしました。

以上の結果、売上高は288億57百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は3億82百万円（前年同期比8.0%減）、経常利益は3億80百万円（前年同期比7.3%減）、四半期純利益は2億32百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ26億96百万円増加（12.2%）し、248億75百万円となりました。この主な要因は、当第2四半期末が金融機関の休日であったためによる、現金及び預金及び新規出店に係る建設仮勘定及び差入保証金の増加によるものであります。

（負債）

負債は、前事業年度末に比べ25億6百万円増加（14.2%）し、201億28百万円となりました。この主な要因は、当第2四半期末が金融機関の休日であったためによる、支払手形及び買掛金及び未払金の増加によるものであります。

（純資産）

純資産は、前事業年度末に比べ1億90百万円増加（4.2%）し、47億47百万円となりました。この主な要因は、四半期純利益の2億32百万円、第17期期末配当金の63百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は前事業年度末に比べ22億44百万円増加（前年同四半期は2億26百万円増加）し33億66百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、36億65百万円（前年同四半期に得られた資金は12億59百万円）となりました。これは主に税引前四半期純利益3億80百万円、減価償却費3億52百万円、仕入債務の増加額26億53百万円、法人税等の支払額1億59百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、6億16百万円（前年同四半期に使用した資金は4億28百万円）となりました。これは主に新規設備投資等に伴う有形固定資産の取得による支出3億47百万円及び新規出店予定店舗に係る差入保証金の差入による支出2億58百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、8億5百万円（前年同四半期に使用した資金は6億5百万円）となりました。これは短期及び長期借入金の純減額6億34百万円、リース債務の返済による支出額1億18百万円及び第17期期末配当金の支払額62百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当期（平成26年2月期）の業績予想につきましては、業績の進捗状況及び平成25年8月23日に発表しました「固定資産の信託設定、信託受益権の譲渡及び定期建物賃貸借契約の締結並びに特別利益の発生に関するお知らせ」を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成25年4月12日に発表いたしました「平成25年2月期 決算短信」に記載の業績予想を修正いたしました。当該予想に関する詳細は、本日（平成25年10月8日）発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,121,386	3,366,023
売掛金	186,032	286,191
商品	2,567,861	2,508,667
貯蔵品	6,898	7,569
その他	548,323	607,602
流動資産合計	4,430,502	6,776,054
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,237,636	5,082,923
土地	8,302,627	8,302,627
その他（純額）	975,746	1,294,664
有形固定資産合計	14,516,010	14,680,214
無形固定資産	40,021	33,439
投資その他の資産		
差入保証金	2,736,093	2,919,346
その他	456,526	466,817
投資その他の資産合計	3,192,619	3,386,164
固定資産合計	17,748,651	18,099,818
資産合計	22,179,154	24,875,873
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,969,208	6,623,013
短期借入金	3,772,239	7,401,479
未払法人税等	145,230	183,359
引当金	—	5,200
賞与引当金	200,320	213,560
ポイント引当金	171,070	249,670
その他	1,318,836	1,692,207
流動負債合計	9,576,905	16,368,489
固定負債		
長期借入金	6,892,998	2,629,540
資産除去債務	244,238	246,929
引当金	127,430	129,889
その他	781,035	753,968
固定負債合計	8,045,701	3,760,327
負債合計	17,622,607	20,128,816

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	368,638	373,670
資本剰余金	277,500	282,532
利益剰余金	3,946,968	4,116,458
自己株式	△68	△110
株主資本合計	4,593,037	4,772,550
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△46,837	△35,841
評価・換算差額等合計	△46,837	△35,841
新株予約権	10,346	10,346
純資産合計	4,556,546	4,747,056
負債純資産合計	22,179,154	24,875,873

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
売上高	28,941,564	28,857,648
売上原価	23,005,574	22,925,766
売上総利益	5,935,990	5,931,882
営業収入	136,212	133,550
営業総利益	6,072,202	6,065,432
販売費及び一般管理費	5,656,542	5,682,866
営業利益	415,660	382,565
営業外収益		
受取利息	9,016	8,449
受取配当金	15,000	10,006
受取手数料	48,695	46,860
その他	15,634	11,935
営業外収益合計	88,347	77,252
営業外費用		
支払利息	90,361	75,862
その他	3,198	3,513
営業外費用合計	93,560	79,375
経常利益	410,447	380,441
特別利益		
新株予約権戻入益	2,842	—
特別利益合計	2,842	—
特別損失		
固定資産除却損	—	58
特別損失合計	—	58
税引前四半期純利益	413,290	380,383
法人税、住民税及び事業税	207,276	198,201
法人税等調整額	△31,497	△50,335
法人税等合計	175,778	147,865
四半期純利益	237,511	232,517

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	413,290	380,383
減価償却費	393,403	352,962
引当金の増減額(△は減少)	△5,188	7,658
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,390	13,240
ポイント引当金の増減額(△は減少)	72,863	78,599
受取利息及び受取配当金	△24,017	△18,456
支払利息	90,361	75,862
売上債権の増減額(△は増加)	△33,016	△100,158
たな卸資産の増減額(△は増加)	159,584	58,522
仕入債務の増減額(△は減少)	161,257	2,653,804
その他	302,975	386,072
小計	1,538,905	3,888,492
利息及び配当金の受取額	15,140	10,171
利息の支払額	△90,805	△73,480
法人税等の支払額	△203,479	△159,287
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,259,760	3,665,896
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△387,347	△347,502
差入保証金の差入による支出	△38,100	△258,000
その他	△3,130	△10,595
投資活動によるキャッシュ・フロー	△428,577	△616,098
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△600,000	△300,000
長期借入れによる収入	1,200,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△1,045,900	△1,034,218
ストックオプションの行使による収入	—	10,064
配当金の支払額	△50,407	△62,961
その他	△108,770	△118,046
財務活動によるキャッシュ・フロー	△605,078	△805,161
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	226,104	2,244,636
現金及び現金同等物の期首残高	1,191,232	1,121,386
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,417,337	3,366,023

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間（自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第2四半期累計期間（自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日）

当社の事業は、流通販売事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間（自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日）

株主資本の金額に前事業年度末に比べて著しい変動がないため、記載を省略しております。